指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和5年度)

基本情報									
施設名称 (愛称)	びわこ文化公園								
HPアドレス	https://www.se	eibu-la.co.jp/park/biwakobunka/	(建物外観等)						
電話番号	077-543-5	831	530000		- Charles T				
所在地	大津市瀬田南	大萱町1740-1				←文化ゾーン			
設置目的	都市構想」の「ター」に位置を	を定された「びわこ文化公園 「芸術、教養の文化クラス けけられた、本県を代表する 文化施設群を都市公園内に 施設	←自然活用ゾーン						
== #=	部局	土木交通部							
所 管	課等	都市計画課							
設置年月		昭和55年7月	5年7月						
土地	敷地面積	43.2ha	避難所指定等		広域避難地				
	市街化区域	市街化区域·市街化調整区域	防災拠点指定等		広域陸上輸送拠点				
	用途地域	第一種住居区域·第二種住居区域	文化財指定		史跡「瀬田丘陵生産遺産群」(源内峠遺跡)				
建物	延床面積	1026.57 m²	再生エネルギー等		太陽光発電				
	取得価額	306,742,700円	自家発電設備						
運営	運営方法	指定管理		障害者用工	レベーター	無			
	運営時間	9:00~17:00	バリアフリー	多目的トイレ		有			
	休館日	年末年始	/\\\/\/\/\/\/\/\/\	オストメイト対応トイレ		有			
駐車台数		422台		車いす使用者用駐車場		9台			

特記事項

指定管理者:びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ

注除機関 注除機 注除 注除 注除 注除 注除 注除 注										
公園管理事務所 鉄筋コンクリート造 S57.4 350.00㎡ 1	施設概要									
倉庫 鉄骨造 S59.4 56.43㎡ 1 休憩所 木造 S60.4 60.00㎡ 1	名 称	主体構造	設置年	延床面積	階 数	耐 震	備 考			
休憩所 木造 S60.4 60.00㎡ 1	公園管理事務所	鉄筋コンクリート造	S57.4	350.00 m²	1					
停留所 鉄骨造 \$60.4 \$33.95㎡ 1 停留所 鉄骨造 \$60.4 \$33.95㎡ 1 倉庫 鉄骨造 \$H9.4 \$127.36㎡ 2 チップ集積場 鉄骨造 \$H9.4 \$59.34㎡ 1 公衆便所(1) 鉄筋コンクリート造 \$55.4 \$40.96㎡ 1 公衆便所(2) コンクリートプロック造 \$55.4 \$20.70㎡ 1 公衆便所(3) 鉄筋コンクリート造 \$59.4 \$45.68㎡ 1 公衆便所(4) 鉄筋コンクリート造 H14.4 \$45.10㎡ 1 大屋根(ノマドルーフ) 鉄骨造 R5.3 \$135.85㎡ 1	倉庫	鉄骨造	\$59.4	56.43 m²	1					
停留所 鉄骨造 S60.4 33.95㎡ 1 倉庫 鉄骨造 H9.4 127.36㎡ 2 チップ集積場 鉄骨造 H9.4 59.34㎡ 1 公衆便所(1) 鉄筋コンクリート造 S55.4 40.96㎡ 1 公衆便所(2) コンクリートプロック造 S55.4 20.70㎡ 1 公衆便所(3) 鉄筋コンクリート造 S59.4 45.68㎡ 1 公衆便所(4) 鉄筋コンクリート造 H14.4 45.10㎡ 1 大屋根(ノマドルーフ) 鉄骨造 R5.3 135.85㎡ 1	休憩所	木造	\$60.4	60.00 m²	1					
倉庫鉄骨造H9.4127.36㎡2チップ集積場鉄骨造H9.459.34㎡1公衆便所(1)鉄筋コンクリート造S55.440.96㎡1公衆便所(2)コンクリートプロック造S55.420.70㎡1公衆便所(3)鉄筋コンクリート造S59.445.68㎡1公衆便所(4)鉄筋コンクリート造H14.445.10㎡1大屋根(ノマドルーフ)鉄骨造R5.3135.85㎡1	停留所	鉄骨造	\$60.4	33.95 m²	1					
チップ集積場鉄骨造H9.459.34㎡1公衆便所(1)鉄筋コンクリート造S55.440.96㎡1公衆便所(2)コンクリートプロック造S55.420.70㎡1公衆便所(3)鉄筋コンクリート造S59.445.68㎡1公衆便所(4)鉄筋コンクリート造H14.445.10㎡1大屋根(ノマドルーフ)鉄骨造R5.3135.85㎡1	停留所	鉄骨造	\$60.4	33.95 m²	1					
公衆便所(1)鉄筋コンクリート造S55.440.96㎡1公衆便所(2)コンクリートプロック造S55.420.70㎡1公衆便所(3)鉄筋コンクリート造S59.445.68㎡1公衆便所(4)鉄筋コンクリート造H14.445.10㎡1大屋根(ノマドルーフ)鉄骨造R5.3135.85㎡1	倉庫	鉄骨造	H9.4	127.36 m²	2					
公衆便所(2)コングリートプロック造S55.420.70㎡1公衆便所(3)鉄筋コングリート造S59.445.68㎡1公衆便所(4)鉄筋コングリート造H14.445.10㎡1大屋根(ノマドルーフ)鉄骨造R5.3135.85㎡1	チップ集積場	鉄骨造	H9.4	59.34 m²	1					
公衆便所(3)鉄筋コンクリート造S59.445.68㎡1公衆便所(4)鉄筋コンクリート造H14.445.10㎡1大屋根(ノマドルーフ)鉄骨造R5.3135.85㎡1	公衆便所(1)	鉄筋コンクリート造	S55.4	40.96 m²	1					
公衆便所(4)鉄筋コンクリート造H14.445.10㎡1大屋根(ノマドルーフ)鉄骨造R5.3135.85㎡1	公衆便所(2)	コンクリートブロック造	\$55.4	20.70 m²	1					
大屋根(ノマドルーフ) 鉄骨造 R5.3 135.85㎡ 1	公衆便所(3)	鉄筋コンクリート造	\$59.4	45.68 m²	1					
	公衆便所(4)	鉄筋コンクリート造	H14.4	45.10 m²	1					
インクルーシブトイレS 木造 R5.3 17.25㎡ 1	大屋根(ノマドルーフ)	鉄骨造	R5.3	135.85 m²	1					
	インクルーシブトイレS	木造	R5.3	17.25 m²	1					

指定管理者管理運営状況 (令和2年度~令和5年度) 指定管理者管理運営状況 年度 指定管理者 指定管理期間 R5年度 びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ 令和4年4月1日から令和24年3月31日まで R4年度 R3年度 びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ 平成31年4月1日から令和4年3月31日まで R2年度 成果情報 R2 R3 R4 R5 備考 利用可能日数(単位:日) 360 360 360 360 年間利用人数(単位:人) 220 486 275.161 276.016 297.813 1日あたり利用人数(単位:人/日) 612.5 766.7 764.3 827.3 年間収入(単位:円) 47,184,988 49,399,372 49,090,584 48,569,950 1日あたり収入(単位:円/日) 137.220 131.069 136.363 134.917 収入·支出実績 (単位:円) R2 R3 R4 R5 備考 収入① 47,184,988 49,399,372 49,090,584 48,569,950 施設利用収入 544.900 573.600 905,500 512,650 48.568,000 47.923.700 指定管理料 46.627.000 47.923.700 その他収入 13.088 257.772 261.384 133,600 支出② 47,429,145 50,621,160 51,445,327 48.763.019 人件費 20.917.835 22,603,687 22,004,797 24.598.122 施設管理費 13,700,261 19,890,756 16,133,427 16,274,777 事業費 12,811,049 8,126,717 13,307,103 7,890,120 収支 ①-② -1.221.788-2.354.743-193.069モニタリング実施状況(令和5年度) 内容 報告書の別 年度報告 年次事業報告書(令和6年4月報告) 月例報告 月例業務報告書(毎月報告) 四半期ごとの実施(年4回) 実施調査 利用者ニーズの把握 利用者アンケート調査をイベント開催時に来園者に実施 手法·実施時期 実施内容 来園者へのアンケート調査 ・アンケート調査の結果、利用者は概ね満足しているデータとなった。 【アンケートの主な声】 ・雨でしたが、子ども達とゆっくり歩いて自然にふれることができました。万華鏡も楽しんで作っていました。また参 加したいです。ありがとうございました。(しまっちとあそぼ) 調査結果 ・楽しかったです。子供(幼児)と一緒にできるイベントをたくさんしてほしいです。(レンコンスタンプバッグ作り) ・自然な物をつかっていておもしろかったです。(暑中見舞いハガキ) ・お茶の本当の点て方を知ってとても楽しかったです。(お茶たて体験)

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・施設や設備に関しては経年劣化がみられるものの中で、特に安全に重視し修繕を行った。ボランティア活動団体と良好な関係を維持し、 園内の良好な状態を保ち、また維持管理費の縮減を図っている。

[・]びわこ文化公園内の各施設だけでなく、近隣大学、高校や近隣企業、施設とも連携を図り、連携イベントの参加者数は目標を大きく上回っていることは評価できる。 特に滋賀県各部署と近隣大学、企業との連携が活発に行え、他の公園と差別化した特色を形にしていくことができた。